

第 14 回 農業後継者りんご整枝剪定講習会兼協議会（筆記試験）

団体名		番号		氏名	
-----	--	----	--	----	--

問 1、文章の（ ）内に適切な用語を下から選び、答えよ。【30 点（各 2 点）】

- (1) りんごの生長は、枝葉の伸長を主とする「（ ）成長」と花を咲かせ、果実をつける「（ ）成長」とに分けられる。
- (2) りんごの花芽形成は主に（ ）月上旬頃から（ ）月下旬にかけて行われる。
- (3) 頂芽の先が破れ青みが現れたものを、1 樹で 3 芽以上認められた時期を（ ）、1 樹で 8～9 割の芽が割れた時期を（ ）、1 樹の中で完全に開いた葉が 1 枚でも見られた時期を（ ）という。
- (4) 枝は（ ）位置や（ ）から出たものほど生育が旺盛である。これを（ ）という。
- (5) りんご樹は生育中だけでなく休眠中でも樹体内に貯えられた養分で生活を続けている。これは、前の年に葉で生産した栄養が、各器官の生活に使われた残りが（ ）として樹体内に貯えられて使われているからである。これを（ ）という。
- (6) 一般に弱小芽とは花芽の横径が（ ）ミ以下のもをいう。
- (7) 黒星病は消雪日からの積算日度が（ ）日度を超えてから降雨があった場合に（ ）が飛散し始める。

果台枝、下垂枝、長、中、5、6、7、8、栄養、養水分、生殖、心抜き、貯蔵養分、芽出し当時、鋏入れ、子のう胞子、分生子、高い、展葉期、低い、先端、中間、頂部優勢、デンプン、葉緑体、代謝、クエン酸回路、1、2、3、150、180、200、予備枝、牽制枝、共枝、平行枝、発芽期、開花期

問 2、次の掛け合わせに対し正しい品種名を答えよ【10 点（各 2 点）】

- ② 「国光」×「デリシャス」・・・（ ）
- ③ 「ゴールドデデリシャス」×「印度」・・・（ ）
- ④ 「ゴールドデデリシャス」×「紅玉」・・・（ ）
- ⑤ 「あかぎ」×「ふじ」・・・（ ）
- ⑥ 「王林」×「ふじ」・・・（ ）

問3、以下の人は何を行った人物か下の から語句を選び説明しなさい。【21点（各7点）】

①



外崎嘉七(1859~1924)

答え _____

②



澁川傳次郎(1898~1991)

答え _____

③

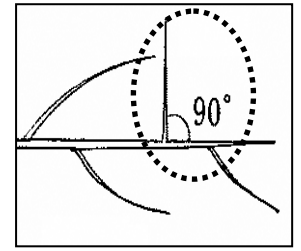
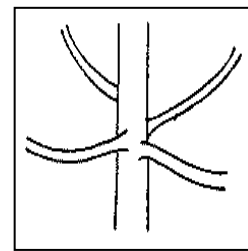
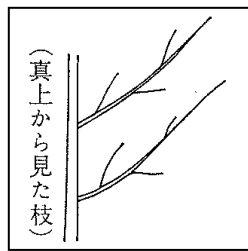
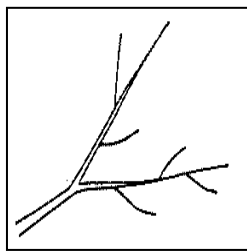


斎藤昌美(1918~1991)

答え _____

ボルドー液や袋かけ モニリア病の解明 青森県りんご協会 青森県りんご試験場
 穂木無償供給 金星 東北7号(⇒ふじ) 樹形改造 品種改良 戦後復興の祖
 りんごの神様 りんごの開祖 りんご栽培の最初の苗木配布者及び試植者 わい化栽培の有利性

問4、下図の名称を答えよ。【10点（各2点）】



() () () () ()

角枝 共枝 葉芽 車枝 逆向枝 平行枝 花芽 結果母枝
 立枝 新梢 主幹 結果母枝群 結果枝 亜主枝 樹高

問5、以下の問いについて計算し答えよ。【6点（各3点）】

(1) わい性台樹を10畝当たり列間5畝、樹間4畝で改植を行った。10畝当たりの植栽本数は何本になったか。

(計算式)

(2) 殺菌剤A（1本当たり容量250ml）を2,000倍で調合する場合、1,000畝当たり何本必要か。

(計算式)

問6、整枝剪定の目的を3つ答えよ。【7点（完全解答）】

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

問6、以下の問いについて適切な数字を下から選び、答えよ。だし同じ数字を選んでも良い。

【16点（各4点）】

(1) 「ふじ」は2020年で生誕何年か。

(2) 平成30年産の青森県りんご生産量のうち「ふじ」は約何%か。

(3) 平成30年産の全国りんご生産量のうち「ふじ」は約何%か。

(4) 青森県において「ふじ」におけるわい化栽培普及状率は約何%か。

10	20	50	60	70	80	90
----	----	----	----	----	----	----